

|       |        |      |                      |
|-------|--------|------|----------------------|
| 講義名   | 対)卒業研究 |      |                      |
| 講義コード | 44415  | 授業形態 | 開講期・曜日・時限 通年 木曜日 4時限 |
| 担当教員  | 辻 美代   |      | 備考                   |

|                |                |
|----------------|----------------|
| 学部・学科          | 演習分野           |
| 経済学部全学科・商学部全学科 | 辻美代ゼミナール(アジア論) |

|  |
|--|
| 概要説明   |
| <p><b>概要</b><br/>中国は高度経済成長期を終え、「新常态」つまり安定成長段階に入った。中国は世界第二位の経済大国に成長し、現在、米国との貿易摩擦から経済覇権を争う厳しい対立に発展している。大国間の争いは、世界経済に大きな影響を与えるものであり、隣国日本の経済発展に与える影響はさらに大きい。他方、中国国内に目を向けると、急速な経済成長は、電力・水不足、深刻な公害（環境問題）、経済格差など多くの問題を生んだ。なかでも、環境問題は地球規模で解決が急がれている。その解決には新しい技術の開発や、日本のこれまでの経験や大いに参考となり、日本の協力がこれまで以上に求められている。また、日本にとっても、中国の活力を取り込むことが必要であり、中国は必要不可欠なパートナーである。</p> <p>現在、中国の経済力の拡大とともに、政治的な発言力も急速に増している。中国共産党はその統治能力に自信を深め、独自の体制で世界と対峙しようとしている。米中対立が深まり、日中双方でお互いを正しく理解する機運に欠けている。そのため、ゼミでは様々な情報を収集し、自分の考えで分析できるようにしていきたい。企業見学やヒアリング、海外（中国・韓国）研修を積極的に企画し、学生の見聞が広がるようにしていきたい。</p> <p><b>研究演習</b><br/>東アジア（中国・香港・台湾など）の基本的状況を理解するために、当該地域に関する映画（DVD）；ゼミ内貸し出し）を観て、社会背景等を纏め直す。テキストを精読します。<br/>発表者（2～3名）は担当箇所を精読し、内容を纏めてください。わからなかった箇所も含めて報告します。<br/>みんなで分からなかった部分を考えます。<br/>*海外（韓国または中国を予定）研修旅行予定</p> <p><b>研究演習</b><br/>演習に引き続き、東アジア（中国・香港・台湾など）の状況を理解するために、当該地域に関する映画（DVD）；ゼミ内貸し出し）を観て、社会背景等を纏め直す。論文およびテキストを精読します。<br/>発表者（2～3名）は担当箇所を精読し、内容を纏めてください。わからなかった箇所も含めて報告します。<br/>みんなで分からなかった部分を考えます。<br/>*卒業論文のテーマを決め、論文に関する資料収集<br/>*海外（韓国または中国を予定）研修旅行予定</p> <p><b>卒業研究</b><br/>前期：卒業論文に関する文献を読んで、報告。<br/>後期：卒業論文の執筆<br/>*海外（韓国または中国を予定）研修旅行予定</p> |
| 主な卒業論文のタイトル  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「中国の国有企業改革」</li> <li>・「中国のペット産業」</li> <li>・「野菜の種子について、日本と中国との関係を中心に」</li> <li>・「WTO加盟後の中国経済」</li> <li>・「中国の水環境問題」</li> <li>・「日中友好関係を実現するために」</li> <li>・「霧にかすむ大陸 中国の大気汚染」</li> <li>・「日本と中国の流通事情について」</li> <li>・「中国の物流」</li> <li>・「トヨタ自動車の中国戦略」</li> <li>・「日中アパレル産業について」</li> <li>・「中国コンピューターゲーム産業の展望」</li> </ul>  |

|   |
|---|
| 教員よりの要望   |
| <p>日本人学生も留学生も、日本、アジアに興味を持ってください。</p> <p>百聞は一見に如かず。百読は一見に如かず？ 中国およびアジアに行って自分の目で見て、感じて、考えましょう。五感（目・耳・鼻・舌・皮膚）を全開させて、中国を体感しながら「知識の手振り」をしましょう。手を探し当てるとはちょっと大変ですが、一旦探し当てると、そこから次から次へと手が出てきますよ。「知識の手振り」を楽しめる、好奇心と忍耐力・体力を持って下さい。そして最後、手振りの成果を卒業論文にまとめて下さい。</p> <p>*要望*<br/>ゼミは授業ではありません。みんなで協力しながら、各自積極的に勉学を進めて行くものです。コミュニケーション力を大いに養い、心地よい共同体に作り上げていきましょう。また、時間を延長して行うことがあったり、春休みや夏休みに活動を行うこともあります。スケジュールの調節ができるようにしてください。</p> |
| 選考方法  |
| 直接会って、話をして決めたいと思います。  |

|  |            |
|--|------------|
| 評価方法   |            |
| ゼミへの出席、そして発表・学習姿勢等を総合的に評価します。  |            |
| 教員英字氏名   | 研究室        |
| Tsujii Miyo  | 研究棟 114研究室 |
| 最終学歴   |            |
| 大阪市立大学大学院経済学研究科後期博士課程単位取得退学  |            |
| 学位   |            |
| 経済学修士  |            |
| 主な研究活動・社会活動・研究業績   |            |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・年に数回、中国およびアジア地域に現地調査に行きます。</li> <li>・「21世紀型アパレル企業の取り組み 日中アパレル企業を例に - 」『関西大学 経済論集』第68巻第4号（2019年3月）</li> <li>・「20世紀世界繊維事情 モードの「ユニフォーム化」と中国の台頭」『流通科学大学論集・経済・情報・政策編』第23巻第2号（2015年1月）</li> <li>・「中露林産物の共生・共栄 国境林産物貿易の推移から」『流通科学大学論集・経済・情報・政策編』第22巻第2号（2014年1月）</li> <li>・「黒竜江省における対ロシア経済交流の現状 木材貿易を中心に」『富山大学極東地域研究センター 平成22年度富山県委託調査研究報告書』『富山と対岸諸国との物流』、2011年3月</li> </ul>              |            |
| 趣味・特技  |            |
| 大阪の田舎で生まれ、育ちました。長期大阪（日本）を離れたのは、中国（北京）留学の一年間とイギリス（ケンブリッジ）在外研究の一年間。北京（1980年代末）もケンブリッジ（2004年）も「自然」豊かな都市で、サイクリングやハイキングを十二分に楽しみました。方向音痴ですが、地図とカメラを持ってぶらぶらゆっくり歩くのが好きです。  |            |
| 所属   |            |
| 経済学部   |            |
| 所属学会   |            |
| 日本現代中国学会、中国経済経営管理学会、アジア政経学会  |            |
| 専門分野   |            |
| 中国経済論、アジア繊維産業論   |            |
| 担当科目   |            |
| アジア経済論、海外経済事情、経済学入門、業界研究（官公庁）、アジア史、教養基礎（歴史）、研究演習など   |            |
| 備考   |            |
| <p>留学生の感想を一つ載せます。参考にして下さい。</p> <p>2011年度卒業した辻ゼミの張良です。中国山東省の出身です。</p> <p>辻ゼミに関して、一番大きな特徴と言えば、それは中国研究です。だから、辻ゼミの学生さんは、日本人の学生でも他の国の留学生でも、みんな中国のことに興味があって、辻ゼミに集まってくる。この辻ゼミを通じて、日本人の学生あるいは他の国の留学生はすぐ中国の留学生と話し掛けて、仲よくすることができると思っています。なぜならば、このゼミには、「中国」という皆の話題がありますから。</p> <p>辻が辻ゼミに入りたと思ったのは、1年生の時に辻先生の授業をとったことがきっかけでした。教室の礼儀に厳しい先生という印象が大きく、その姿勢に大きな好感を持ちました。その後、奨学金の面接を受けて、面接官の辻先生といることを話して、辻先生の優しさは私にとっても印象深かったです。辻先生は中国研</p> |            |
| 実務経験の有無及び活用  |            |